

# 知ることから始めよう 「写真で綴る 地域の歩みと産業との関わり」

主催：株式会社 博進堂



写真展での展示写真 昭和13年頃の東区工場風景（栗ノ木川付近）



## 「港町・新潟」を語るうえで、東区の産業の歴史は欠かせない。

港町・新潟を象徴する東区。東区はその両側を信濃川と阿賀野川に囲まれ、その間にかつて阿賀野川の本流であった通船川が流れています。そのような地形から、東区の土地は昔から交流の拠点でありました。そこへ北越鉄道の終着駅として沼垂駅が設置されたことで、産業の町として発展してきました。かつての産業人たちは、この新潟が日本海側の玄関口になると確信し、東区の開発を進めていきました。東区には、そのような産業の歴史、それを支える人たちの営みの歴史が残っています。

本プロジェクトでは東区の今昔写真を募集し、その写真をつかって博進堂本社で常設写真展を開催。延べ200名にご来場いただきました。また、新潟空港でもお盆期間中に写真を展示し、帰省ラッシュで行きかう人たちの目に触れてもらうことができました。

合わせて、東区の歴史を学ぶ夜学教室を計3回行いま

した。参加者からは「東区に住んでいるが、はじめて産業の歴史聞くことができた。参加以来、近所の図書館に行って自分でも歴史を調べてみた」などの感想をいただきました。

東区には語り継ぎたい歴史と、今の新潟市を支える素晴らしい企業がたくさんあります。

今回のプロジェクトを通じて歴史を知ったことで、さらに東区で働くことに誇りをもつことができました。

今回のプロジェクトを一過性のものとして終わらせず、継続して東区の歴史と魅力を発信し、企業の立場からも東区を盛り上げていきます。

（文：清水）

- 8月1日(水)～9月28日(金) 常設写真展（博進堂本社）
- 8月8日(水)～8月16日(木) 巡回写真展（新潟空港2F出発ロビー前）
- 8月1日(水)、17日(金)、29日(水) 夜学教室（新潟木工センター2F会議室）